

BD/DVD

セットアップガイド

BRD-UM2

この度は、「BRD-UM2」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に「本書」をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

動作環境の確認

	フルレイディスク Blu-ray Disc 映像編集・再生時	フルレイディスク Blu-ray Disc データ書き込み時 / DVD/CDディスク使用時
対応機種 ^{※1}	USB 2.0 ^{※2} ポートを搭載したDOS/Vマシン	
対応OS ^{※3}	Windows XP Service Pack 2	Windows XP Service Pack 2/2000 Professional Service Pack 4
搭載CPU ^{※3}	Pentium 4 2.8GHz以上	Pentium 4 1.8GHz以上
メモリ ^{※3}	512M/バイト以上 (1G/バイト以上推奨)	512M/バイト以上
ハードディスク	空き容量 30G/バイト以上 (Blu-ray 映像編集時は60G/バイト以上推奨)	
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度	
インターネット	本製品をご利用の際には、インターネット接続環境が必要です。	
対応メディア ^{※4}	●B D: BD-R、BD-RE ^{※6} 、BD-ROM ●DVD: DVD+R ^{※6} 、DVD+RW、DVD-R ^{※7} 、DVD-RW、DVD-RAM ^{※8} 、DVD-ROM ●C D: CD-R、CD-RW、CD-ROM	

	メディア	メディアの速度	メーカー名
推奨メディア ^{※9}	1層BD-R	2倍速	TDK、Panasonic
	2層BD-R	2倍速	Panasonic
	1層BD-RE	2倍速	TDK、Panasonic
	2層BD-RE	2倍速	Panasonic
	1層DVD+R	16倍速 (8倍速書き込み)	太陽誘電、日立マクセル、リコー
	2層DVD+R	8倍速	太陽誘電、日立マクセル、リコー
	2層DVD+R	4倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学、リコー
	2層DVD+R	2.4倍速 (最大4倍速書き込み ^{※12})	日立マクセル、三菱化学
	DVD+RW	2.4倍速	リコー
	DVD+RW	8倍速	日立マクセル、リコー
推奨メディア ^{※9}	1層DVD-R	4倍速	日立マクセル、三菱化学、リコー
	1層DVD-R	16倍速 (8倍速書き込み)	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	2層DVD-R	8倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	2層DVD-R	4倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	DVD-RW	6倍速	ビクター、日立マクセル、三菱化学
	DVD-RW	4倍速	ビクター、日立マクセル、三菱化学
	DVD-RAM	5倍速	Panasonic、日立マクセル
	DVD-RAM	3倍速	Panasonic、日立マクセル
	CD-R	太陽誘電、三菱化学	
	CD-RW	三菱化学	

- 本製品で書き込みをおこなったBDメディアは、カートリッジタイプのBD-REメディアを使用するレコーダーでは使用できません。
- DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアで作成したDVDビデオは、既存のプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- 上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用される場合、電波障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

I-O DATA

B-MANU200546-01



※1 より詳しい対応機種情報に対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
<http://www.iodata.jp/pio/>

※2 パソコン本体に標準で搭載されているUSB 2.0規格で、ご利用のOSに対応したドライバがインストールされている必要があります。
(Microsoft社製 USB 2.0ドライバ推奨) 増設USB 2.0インターフェイスには対応していません。

※3 市販のBlu-rayビデオを再生する際には、添付ソフトウェアのアップグレードが必要です。また、動作環境も左記とは異なります。詳細は弊社ホームページにてご確認ください。

※4 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
●BD・DVD・CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※5 カートリッジタイプのBD-REメディアには対応していません。

※6 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※7 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※8 カートリッジから取り出し不可能なメディア (TYPE I) および2.6G/バイト/面のメディアには対応していません。

※9 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※10 8倍速メディアへの書き込みには対応していません。

※11 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※12 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。
また、メディアメーカーへのお問い合わせは、メディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

1.準備しよう

内容物を確認します

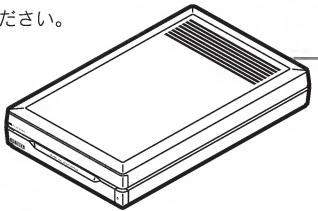
□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

□ ドライブ (1台)

□ ACアダプター (1個)

□ USBケーブル (1本)

□ 縦置きスタンド (1個)



- ☑ BD/DVDセットアップガイド (本書/1枚)
- BD Proツールズコレクション for BRD-M2 (CD-ROM/1枚)
- UleadソフトウェアCD (CD-ROM/1枚)
- Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内 (1枚)
- BD-REメディア (サンプル品/1枚)
- ゴム足 (8個)
- ハードウェア保証書 (1枚)

シリアル番号 (S/N) をメモします

シールサンプル▶	型番 BRD-UM2 シリアル番号: A0A0000000XX 定格: DC5V 1.5A DC12V 1.0A ※ アイブローダー9機器
シリアル番号 (S/N) は本製品背面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。 (例: A0A0000000XX) シリアル番号 (S/N) を下の枠にメモしてください。	
<div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>	

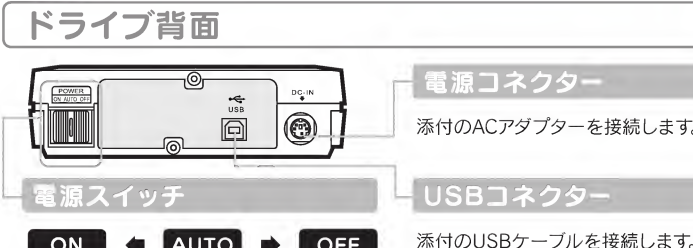
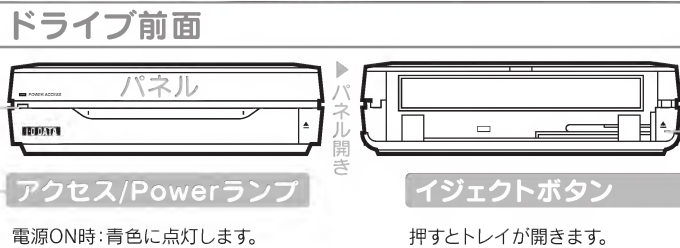
シリアル番号 (S/N) は以下の際に必要な場合があります。

最新版ファームウェア等のダウンロード <http://www.iodata.jp/lib/>

ユーザー登録 <http://www.iodata.jp/regist/>

ハードウェア保証書について
「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されています。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称



電源ON時: 青色に点灯します。
読み込み時: 青色に点滅します。
書き込み時: オレンジ色に点滅します。

電源ON時: 青色に点灯します。
読み込み時: 青色に点滅します。
書き込み時: オレンジ色に点滅します。

製品仕様

ドライブ名	SW-5582 (JOM供給元: パナソニック西園エレクトロニクス株式会社)	平均アクセスタイム	●BD-ROM : 210ms ●CD-ROM : 160ms ●DVD-ROM : 170ms ●DVD-RAM : 220ms
インターフェイス仕様	USB 2.0		
設置条件	設置方向: 水平、垂直 (垂直は12cmメディアのみ対応)		
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング		
データバッファサイズ	8M/バイト		
書き込みエラー回避機能	搭載		
最大書き込み/読み込み速度	※ BD×1の転送速度はDVDの×3.25に相当します。	書き込み方法	●BD-RE : Random Access ●BD-R : Sequential Recording、Random Recording、Sequential Recording with Logical Overwrite ●DVD+R : Sequential write ●DVD+RW : Random write ●DVD-R : Disc at Once、Incremental ●DVD-RW : Disc at Once、Incremental、Restricted Overwrite ●DVD-RAM : Random write ●CD-R/RW : Disc at Once、Session at Once、Track at Once
適合フォーマット	●B D: BD-ROM ●DVD: DVD-Video、DVD-ROM ●C D: CD-ROM mode 1、CD-ROM mode 2 (form 1、form 2)、CD-Extra、CD-I、PhotoCD、Video CD、CD-DA、CD-TEXT	電源仕様	AC 100V±10%、50/60Hz 定格電流 5V : 1.5A、12V : 1.0A 動作温度 +5~+35℃ (パソコンの動作する温度範囲であること) 動作湿度 20%~80% (結露なきこと) 外形寸法 170(W)×270(D)×50(H)mm (突起部分を除く) 質量 約1.7kg (ACアダプターを除く)

2.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

※セットアップを行う場合には、管理者権限でログインしてください。

手順.1

本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

手順.2

添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

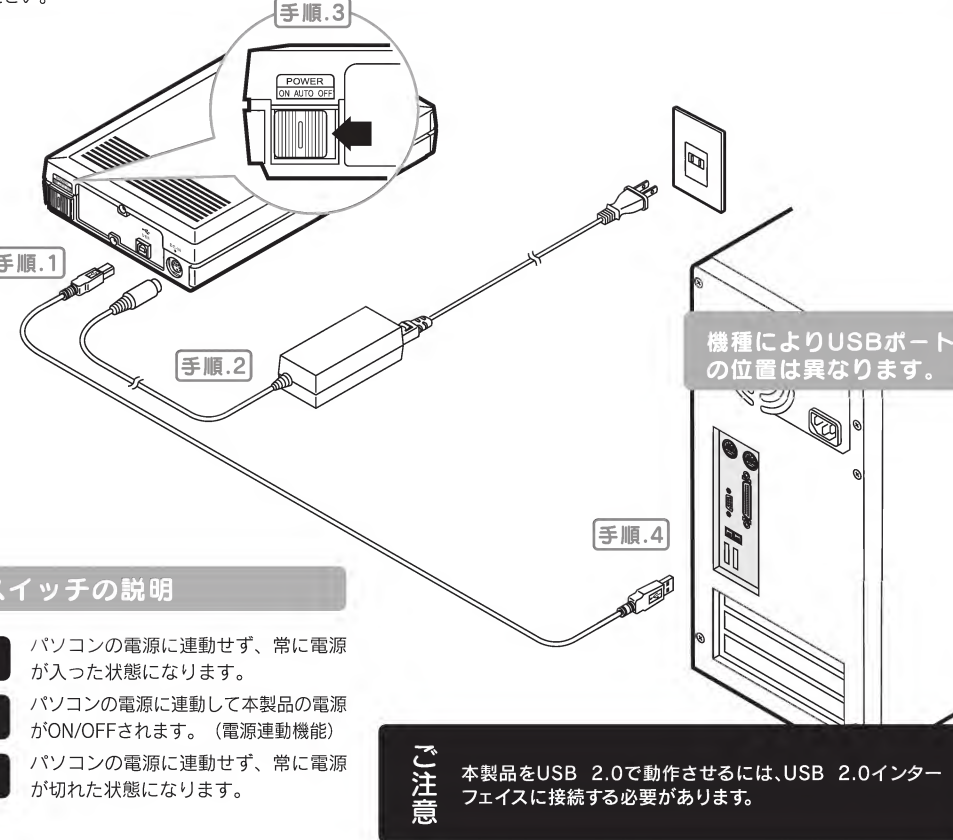
手順.3

電源を入れます。

手順.4

パソコンのUSBポートにつなぎます。

本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。



電源スイッチの説明

ON

AUTO

OFF

パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。(電源連動機能)
パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

電源連動機能とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が[AUTO]の状態の時のみ有効です。
この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。
また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。



電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

縦置きにする場合

手順.1

添付の縦置きスタンドの裏に、添付のゴム足を4枚貼り付けます。

手順.2

イジェクトボタンが下になるように立て、縦置きスタンドを本体に取り付けます。

手順.3

イジェクトボタンが上になるように縦置きにします。

横置きにする場合

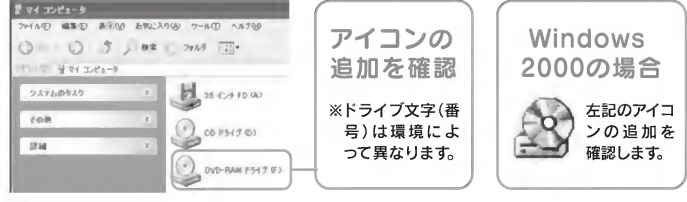
ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。

●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

3.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



↑ (画面例: Windows XP)

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。) また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
- 添付のCD-ROMに収録されているQ&Aの「Q01 本製品をパソコンに接続しても認識しない(本製品のアイコンがマイコンピュータに表示されない)」をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

[キャンセル]ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

4.その他

取り外し手順について

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。
(画面例: Windows XP)

手順.1

タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

表示されるアイコンはOSによって異なります。

手順.2

本製品の表示をクリックします。
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字(番号)で判断してください。
(画面例: Eドライブの場合)

USB大容量記憶装置(デバイス - ドライブ (E))を安全に取り外します。

手順.3

メッセージを確認します。
(Windows 2000の場合は[OK]をクリックします。)

手順.4

パソコンのUSBポートから、本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。

AUTOの場合、自動的に電源が切れます。左記、「電源連動機能とは？」をご参照ください。

こんなときには

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

その他ご注意

- ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品は、パソコンの省電力機能には対応していません。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

裏面へお進みください。➡

てっとり早く Blu-rayを使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

Blu-rayに映像を保存したい Ulead® BD DiscRecorder 2.5 Ulead	Blu-rayにデータを書き込みたい Ulead® Data-Add 2.5 Ulead	DVDビデオを作りたい DVD MovieWriter 4.7 Ulead	データDVDを作りたい Ulead® Burn.Now® 3 Ulead	Blu-rayの映像を再生したい InterVideo WinDVD BD InterVideo	DVDを再生したい InterVideo WinDVD 5 InterVideo
BDレコーディングソフト Blu-ray Discへ映像ファイルを書き込んだり、デジタルビデオカメラから直接レコーディングする際に使用します。	パケットライトソフト インストールすると、Blu-ray Discメディアにドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。 ※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合は、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。	DVDオーサリングソフト 既存の映像ファイルやDVカメラの映像を使って、DVDビデオを作成する際に使用します。	データライティングソフト データBD/DVD/CDを作成することができます。 ※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合は、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。	Blu-ray Disc再生ソフト 作成したオリジナルBlu-ray Discの映像を再生することができます。 ※市販のBlu-rayビデオを再生するには、本ソフトウェアをアップデートする必要があります。詳細は弊社ホームページをご覧ください。 http://www.iodata.jp/prod/storage/blu-ray/2006/brd-um2/	DVD再生ソフト 市販のDVDや作成したDVDビデオ、または家庭用DVDレコーダーで録画されたDVD±R/RW、DVD-RAMを再生することができます。

これらのソフトは、「UleadソフトウェアCD」CD-ROMを入れたと一度にインストールされます。

BDに映像ファイルを保存する手順については…

BDメディアにデータを書き込む手順については…

DVDビデオの作成手順については…

DVDビデオの再生手順については…

添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。

- 「BD Pro ツールズコレクション for BRD-M2」CD-ROMを本製品にセットします。自動でメニューが表示されます。メニューが表示されない場合は、CD-ROMの「Menu」(Menu.exe)を起動してください。
- 「オンラインマニュアルを読む」ボタンをクリックします。
- お使いの製品のシリーズ名をクリックし、起動します。

添付の「BD Pro ツールズコレクション for BRD-M2」CD-ROMにはその他に以下のソフトウェアも収録されています。

Adobe Reader Adobe	PDF文書ファイル閲覧ソフト：各ソフトに付属しているPDF形式の文書ファイルを読むのに使用します。
見張っトレイ I-O DATA	トレイコントロールユーティリティ：パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。使用方法は見張っトレイのオンラインマニュアルをご覧ください。[スタート]-[I-O DATA]-[見張っトレイ]-[オンラインマニュアル]から起動します。
オンラインマニュアル I-O DATA	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※収録されているソフトをお使いの場合は、Windowsを管理者 (Administrator) 権限でログオンしてください。

- 添付のCD-ROMを本製品に挿入します。
- メニューが表示されたらインストールをクリックします。
- インストールしたいソフトをクリックします。
- 表示に従ってインストールを進めます。
- インストールが完了します。(再起動が必要な場合があります。)

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

※シリアル番号/CD-Key
●WinDVD BD :
●WinDVD 5 for OEM :

てっとり早く Blu-rayに映像を保存しよう

- 動画ファイルを準備します。
●TVキャプチャ
●VHSビデオテープ
●DVカメラ等。
- DVD MovieWriter 4.7 BD versionを起動します。
[DVD MovieWriter 4.7 BD version]アイコンをダブルクリック
- 表示されたメニューから[BD]→[ビデオBDの作成]の順にクリックします。
- [次へ]ボタンをクリックします。

※動画ファイルの作成方法やDVカメラとの接続方法はお使いのキャプチャ機器、DVカメラの取扱説明書をご参照ください。

- [次へ]ボタンをクリックします。
- ビデオに書き込みたいファイルを選択します。
1 [ファイルを選択]
2 [開く]をクリック
3 [次へ]をクリック
- [メディアの追加]枠の中からをクリックします。
4 [メディアの追加]をクリック
- [メディアの追加]枠の中からをクリックします。
5 [メディアの追加]をクリック
- ここでDVD画質の映像ファイルを選択すると長時間の映像ライブライBDを作成することができます。

- [書き込み]をクリックし、書き込みを開始します。
1 [ディスクの初期化]をクリック
2 [OK]をクリック
3 [OK]をクリック
- [OK]ボタンをクリックします。
- [OK]ボタンをクリックします。

こんな時には…
下記のようなメッセージがでた…
⇒初めてBDメディアを使う場合には、メディアの初期化が必要です。[OK]ボタンをクリック後、次の手順で初期化をおこなってください。

1. [ディスクの初期化]をクリックします。
2. [OK]ボタンをクリックします。
3. [OK]ボタンをクリックします。

困った時には…
添付「BD Proツールズコレクション for BRD-M2」のCDメニューより[Q&A]をご確認ください。

それでもわからなかったら…
ユーリードシステムズ株式会社 ユーザーサポート係
TEL 045-226-1966
受付時間：10:00~12:00/13:30~17:00
月~金曜(祝日を除く)

てっとり早く Blu-rayを再生しよう

- WinDVD BDを起動します。
[InterVideo WinDVD BD for I-O DATA]アイコンをダブルクリック
- 再生するBlu-ray Discを挿入します。
挿入すれば、自動的にBlu-rayの再生がスタートします。

困った時には…
Windows XPで左のようなウィンドウが表示される
→キャンセルをクリックします。

それでもわからなかったら…
イタチ・ビデオジャパン・テクニカルサポート
045-226-3899
受付時間：09:30~12:00/13:30~17:00
月~金曜(祝日を除く)

てっとり早く BDにデータを書き込もう

- BD-REメディアを本製品に挿入します。
- エクスプローラにある本製品のアイコンを右クリックし、[Data-Addのディスクフォーマット]をクリックします。
1 アイコンを右クリック
2 [Data-Addのディスクフォーマット]をクリック
- 表示された画面でファイルシステムバージョンが[UDF 2.5]になっていることを確認し、[開始]ボタンをクリックします。
1 [UDF 2.5]を確認
2 [開始]をクリック
- これでBD-REメディアへドラッグ&ドロップするだけでデータを書き込むことができます。
※2~3の手順は初めてBD-REメディアを使う際のみ必要です。
※DVD±RW/RAM、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書き込むことができます。

てっとり早く DVDにデータを書き込もう

- Burn.Now 3を起動します。
[Ulead Burn.Now 3]アイコンをダブルクリック
- [ディスクの作成]、[新規プロジェクト]、[データディスク]が選択されていることを確認し、書き込み先で[DVD]を選択、[OK]ボタンをクリックします。
1 [確認]
2 [DVD]を選択
3 [開始]をクリック
- 画面上段で保存したいデータを選択し、下段にドラッグ&ドロップします。
ドラッグ&ドロップ

- ドライブに本製品を選択し、書き込みアイコンをクリックします。
1 本製品を選択
2 書き込みアイコンをクリック
- 本製品にDVDメディアを挿入し、書き込みアイコンをクリックします。
書き込みアイコンをクリック

困った時には…
デスクトップとエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップしてサムネールリストに動画ファイルを追加することもできます。
ドラッグ&ドロップ

注意 Burn.Now 3 + Data-Add 2.5 を使用する際のご注意

- 省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込み失敗する場合があります。
 - マルチセッション・マルチボーダー(セッション単位でデータを追加すること)で記録したメディアの使用法や容量を知りたい場合は、「Burn.Now」の「BD/DVD/CDドライブ」メニューの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される「使用領域」では、OS仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
 - ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
 - 2層DVD+Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
 - 「Data-Add」はリライタブルメディア (BD-RE、DVD±RW、DVD-RAM、CD-RW) への書き込みのみ対応しています。
 - 一度でも書き込み失敗したBD-R/DVD+R/RW/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。
- また、書き込みに失敗したBD-RE/DVD+R/RW/CD-RWメディアは、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- いったん「Burn.Now」と本製品で書き込みを行ったメディアに追加する場合は、必ず「Burn.Now」と本製品を使用してください。また、いったん「Data-Add」と本製品で書き込みを行ったメディアに追加する場合は、必ず「Data-Add」と本製品を使用してください。
 - 一度「Data-Add」でフォーマットしたBD-RE、DVD±RW、CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、「Data-Add」で再フォーマットしてください。
 - Burn.Nowのエラー回復機能のチェックを外さないでください。書き込み時に表示される「書き込みエラー防止機能を使う」をONにしてください。
 - 音楽データを書き込んだCD-R/DVD-RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/DVD-RWメディアに対応している必要があります。
 - 「Burn.Now」を使用してDVD-RWメディアへ書き込みを行う場合、ディスクを開閉することはできません。

注意 DVD MovieWriter 4.7 BD version、WinDVD 5 for OEMを使用する際のご注意

- 本製品のDVDのリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
- CPRM技術で保護されたDVDメディアを再生・編集するには、サービスパックやCPRM Packをダウンロードし、インストールする必要があります。※インターネット接続環境が必要です。
- なお、ダウンロードには制限がありますので、ダウンロードしたプログラムは大切に保管してください。手違いによりは、本製品のオンラインマニュアル内「DVDビデオを作る」および「DVDビデオを再生しよう」をご覧ください。

困ったときには?

BD DiscRecorder 2.5、DVD MovieWriter 4.7 BD version、Burn.Now 3、Data-Add 2.5 で困ったら… <ol style="list-style-type: none">ソフトウェアのオンラインマニュアルを確認する。 [スタート]メニューの[Ulead DVD Movie Writer 4.7 BD version]から起動します。ホームページでサポート情報を見る。 http://www.ulead.co.jp/サポートに問い合わせる。	WinDVD BD や WinDVD 5 for OEM で困ったら… <ol style="list-style-type: none">ソフトウェアのヘルプを確認する。ホームページでサポート情報を見る。 http://www.intervideo.co.jp/サポートに問い合わせる。	Blu-rayドライブ本体 や 見張っトレイ で困ったら… <ol style="list-style-type: none">添付の「BD Proツールズコレクション for BRD-M2」CD-ROMに収録されているQ&Aを確認する。ホームページでサポート情報を見る。 ●製品Q&A、Newsなど http://www.iodata.jp/support/ ●最新サポートソフト http://www.iodata.jp/lib/サポートに問い合わせる。
--	--	--

それでも解決しなかったら

ユーリードシステムズ株式会社 ユーザーサポート係
TEL 045-226-1966
受付時間：10:00~12:00/13:30~17:00
月~金曜(祝日を除く)

※お問い合わせの際はユーザー登録が必要です。
※シリアルNo.はインストール時の表示が、各ソフトウェアを起動し[バージョン情報]等各ソフトウェアについてのオプションを参照してください。

<http://www.ulead.co.jp/>
●E-Mail: 上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

インタービデオジャパン株式会社 テクニカルサポート
TEL 045-226-3899
FAX 045-226-3895
受付時間：09:30~12:00/13:30~17:00
月~金曜(夏季・年末特定休業日、祝日を除く)

<http://www.intervideo.co.jp/support/>
●E-Mail: techsupp@intervideo.co.jp

株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
TEL(東京) 03-3254-1095
TEL(金沢) 076-260-3688
FAX(東京) 03-3254-9055
FAX(金沢) 076-260-3360
[受付時間] 09:30~19:00 月~金曜(祝日を除く)

修理について

修理を依頼する前に

以下の事項をご確認ください。

- お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。
- 修理金額について
保証期間中は、無料で修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証範囲」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
※保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※修理が完了してから一定期間が過ぎた場合は、修理がなくなる場合があります。
※お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、修理が完了して修理金額をご案内いたします。修理するかを検討の上、検討結果を記入してご返信ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにてご連絡させていただきます。)
- 修理をご依頼ください
修理は、下の付先までお送りください。お申し込みは、お申し込み書に添付の「修理依頼書」を添付の上、お送りください。お申し込み書は、お申し込み書に添付の「修理依頼書」を添付の上、お送りください。お申し込み書は、お申し込み書に添付の「修理依頼書」を添付の上、お送りください。
- 修理を依頼する前に
修理は、下の付先までお送りください。お申し込みは、お申し込み書に添付の「修理依頼書」を添付の上、お送りください。お申し込み書は、お申し込み書に添付の「修理依頼書」を添付の上、お送りください。

送付先

株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送されます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

使用上のご注意

著作権について
この製品またはソフトウェアは、あなたが著作権保有者であるか、著作権保有者から複製の許諾を得ている素材を制作する手段としてのものです。もしあなたが自身を著作権者としていない場合は、著作権保有者から複製許諾を得ていない限り、著作権者の同意なく、複製行為を営む複製行為を負うことになります。御自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家に相談してください。

本製品のライティングソフトウェアについて
■本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して同一機器が使用された場合はサポートはいたしません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して同一機器が使用された場合はサポートはいたしません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して同一機器が使用された場合はサポートはいたしません。

DVDの地域コード(リージョンコード)について
本製品は、日本の地域コードである「2」に設定されています。ソフトウェアDVDプレーヤーなどでの地域コードに設定された場合、弊社では保証いたしません。

商標について
●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名などの商標または登録商標があります。

デジタルライフの夢を拓ける
株式会社
アイ・オー・データ機器

本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホーム デスク <http://www.iodata.jp/support/>
2006.05.16 Copyright © 2006 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.